

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公開番号】特開2005-149764(P2005-149764A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-381658(P2003-381658)

【国際特許分類】

H 01 B 5/00 (2006.01)

H 01 B 1/22 (2006.01)

H 01 B 5/16 (2006.01)

H 01 R 11/01 (2006.01)

【F I】

H 01 B 5/00 M

H 01 B 1/22 Z

H 01 B 5/16

H 01 R 11/01 5 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面が導電性を有する金属からなる基材粒子と前記基材粒子を被覆する絶縁性のコアシェル粒子とからなる被覆導電性粒子であって、

前記コアシェル粒子は、コア粒子と前記コア粒子の表面に形成されたシェル層とからなることを特徴とする被覆導電粒子。

【請求項2】

コアシェル粒子は、コア粒子のガラス転移温度又は軟化温度よりもシェル層のガラス転移温度又は軟化温度が高く、及び/又は、コア粒子の融点よりもシェル層の融点が高いものであることを特徴とする請求項1記載の被覆導電粒子。

【請求項3】

コアシェル粒子は、基材粒子に対して結合性を有する官能基(A)を介して前記基材粒子の表面を部分的に被覆していることを特徴とする請求項1又は2記載の被覆導電粒子。

【請求項4】

コアシェル粒子によって基材粒子表面が単層で被覆されていることを特徴とする請求項1、2又は3記載の被覆導電粒子。

【請求項5】

請求項1、2、3又は4記載の被覆導電粒子が絶縁性のバインダー樹脂中に分散されていることを特徴とする異方性導電材料。

【請求項6】

請求項1、2、3又は4記載の被覆導電粒子又は請求項5記載の異方性導電材料により導電接続されていることを特徴とする導電接続構造体。